

鳥取県衛生環境研究所調査研究外部評価の概要（平成 25 年度）

平成 25 年 10 月 25 日
鳥取県衛生環境研究所

鳥取県衛生環境研究所では、県政の重要課題や県民ニーズを踏まえた研究活動の活性化を促進し、優れた研究成果を上げるため、平成 16 年度から当県の組織の外部の有識者、専門家による外部評価制度を導入しています。

平成 25 年度は、平成 26 年度から新たに実施しようとする研究課題についての事前評価、平成 25 年度時点で研究途中の研究課題についての中間評価、平成 24 年度で終了した研究課題についての事後評価を行いました。概要は以下のとおりです。

1 評価方法・評価項目

評価は、研究課題ごとの計画書又は報告書に基づいて、次の区分で実施しました。

● 事前評価

- (1) 評価項目：①研究課題の必要性 ②研究の効果 ③研究計画・研究方法
④研究体制・研究予算 ⑤総合評価
- (2) 対象課題：平成 26 年度に新規に実施しようとする全ての研究課題（3 課題）

● 中間評価

- (1) 評価項目：①研究の実施状況 ②研究の成果 ③研究の効果
④目標達成の可能性 ⑤総合評価
- (2) 対象課題：3 年以上の研究期間を有するものについて必要に応じて実施（2 課題）

● 事後評価

- (1) 評価項目：①目標の達成度 ②研究の成果 ③研究の効果・成果の実用化
④研究成果の発展性 ⑤総合評価
- (2) 対象課題：平成 24 年度で研究期間が終了した全ての研究課題（5 課題）

2 評価者

評価者は、保健衛生又は環境に関する専門家で、かつ公正な立場で評価していただける学識経験者と、県民の代表として県民、住民団体、企業等の視点から評価していただける有識者から次のとおり選任しました。（敬称略）

【専門家】

氏名	所属・役職	備考
伊藤 壽啓	鳥取大学農学部共同獣医学科 教授	再任
野津 あきこ	鳥取短期大学生生活学科 教授	再任
松村 治夫	鳥取環境大学環境学部環境学科 教授	再任
増田 貴則	鳥取大学大学院工学研究科 准教授	新任

【県民代表】

氏名	活動・所属団体等	備考
安本 仁子	特定非営利活動法人鳥取県消費者協会 代表（消費生活アドバイザー）	再任
三津国美枝子	湯梨浜町民ミュージカル実行委員	再任
福田 忠明	太陽エネルギー学校 代表 とっとり環境ネットワーク環境教育推進グループ コーディネーター	再任

3 評価の実施期間

平成 25 年 8 月～9 月（ヒアリング実施日：平成 25 年 8 月 23 日（金）、9 月 3 日（火））

4 評価結果及び対応

（1）事前評価

評価対象の 3 課題の評価結果は、別紙 1 のとおりでした。

ア 「評価点」について

評価対象 3 課題の評価点の合計は、20 点満点中 15.7～17.9 点（平均 17.1 点）でした。

イ 「総合評価」と今後の対応について

全 3 課題について、総合的に「実施すべきもの」と評価を受けました。

今後は、各評価者の所見、指摘事項等を踏まえて、研究計画をさらに精査した後、来年度の事業化に向かいます。

（2）中間評価

評価対象の 2 課題の評価結果は、別紙 2 のとおりでした。

「総合評価」と今後の対応について

全 2 課題について、総合的に「継続すべきもの」と評価を受けました。

引き続き、各評価者の意見等を踏まえ、目標達成に努めます。

（3）事後評価

評価対象の 5 課題の評価結果は、別紙 3 のとおりでした。

「総合評価」と今後の対応について

全 5 課題のうち、4 課題の総合的評価が「評価 A（優れた研究成果）」、1 課題が「評価 B（研究成果として概ね適当である）」でした。

評価項目全般について、評価者の意見を踏まえ、背景や理由等を検証し今後の研究課題の設定や進捗管理に活かします。

（4）全般的事項

評価者から調査研究の実施に際しての留意点や着眼点等の助言をいただきました。

事前評価及び中間評価の対象課題については、新たな研究課題の実施及び実施中の課題の継続の必要性や重要性について認めていただき、全般的に評価者からは前向きな評価を多くいただきました。

しかし、より具体的な研究計画や予算額、関係機関との連携等、検討すべき事項があるとの指摘を受けた課題もあり、評価者からいただいた意見等を踏まえ、見直しを図っていく予定です。

(別紙1)

●事前評価対象課題と評価結果				研究課題の必要性	研究の効果	研究計画・研究方法	研究体制・研究予算	評価点合計	総合評価
担当	No.	課題名	研究期間	平均点	平均点	平均点	平均点	平均点	
大気・地球環境室	1	PM2.5及び黄砂時における屋外の大気粉じんに係る健康影響調査	H26～H27	4.7	4.9	4.3	4.0	17.9	実施すべきものとする
リサイクルチーム	2	廃棄物・資源循環のリスク管理のための新規試験法の開発	H26～H28	4.6	4.4	4.4	4.1	17.6	実施すべきものとする
水対策環境チーム	5	リモートセンシングを利用した湖沼観測システム	H26～H27	4.0	3.9	3.9	4.0	15.7	実施すべきものとする

新規評価対象課題: 3題

<総合評価の基準>

15点以上 実施すべきものとする。

10点以上 委員の意見等を反映して実施すべきものとする。

15点未満

10点未満 原則、実施しないものとする。

(別紙2)

●中間評価対象研究課題一覧				研究の 実施状 況	研究の 成果	研究の 効果	目標達 成の可 能性	評価点 合計	総合 評価
担当	No.	課題名	研究 期間	平均点	平均点	平均点	平均点	平均点	
リ サイ クル チ ー ム	1	重金属含有ガラスのリサイクル 技術に関する研究	H24 ～ H26	4.3	4.7	4.4	4.0	17.4	継続す べき
水 環 境 対 策 チ ー ム	2	湖山池の環境変化に備えた生 物多様性・生態系評価	H24 ～ H27	4.4	4.7	4.3	4.0	17.4	継続す べき

中間評価対象課題: 2題

<総合評価の基準>

15点以上 継続すべきものとする。

10点以上 委員の意見等を反映して継続すべきものとする。

15点未満 原則、継続しないものとする。

10点未満

●事後評価対象研究課題一覧				目標の達成度	研究の成果	研究の効果・成果の実用化	研究成果の発展性	評価点合計	総合評価
担当	No.	題名	研究期間	平均点	平均点	平均点	平均点	平均点	
大気地球環境室	1	県内における放射性物質の分布状況等に関する調査研究	H24	4.3	4.1	4.0	4.0	16.4	評価Aとする(優れた研究成果である)
保健衛生室	2	健康危機に対応するための微生物検査手法強化に関する研究	H24	4.0	4.4	4.1	4.1	16.7	評価Aとする(優れた研究成果である)
リサイクルチーム	3	焼却灰・溶融飛灰のリサイクルに関する研究	H23 ～ H24	4.4	4.7	4.1	4.1	17.7	評価Aとする(優れた研究成果である)
水環境対策チーム		鳥取県内の地下水・湧水の水質とその形成・循環に関する研究	H22 ～ H24	4.3	4.4	4.0	4.3	17.0	評価Aとする(優れた研究成果である)
化学衛生室	4	QuEChERS法を用いた残留動物用医薬品一斉分析法の開発	H23 ～ H24	3.1	3.7	3.1	3.7	13.7	評価Bとする(研究成果として概ね適当である)

事後評価対象課題: 5題

＜総合評価の基準＞	
15点以上	評価Aとする(優れた研究成果である)
10点以上	評価Bとする(研究成果として概ね適当である)
15点未満	
10点未満	評価Cとする(研究成果が乏しい)